

一関工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	分野展開セミナー
科目基礎情報					
科目番号	0014		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	未来創造工学科 (電気・電子系)		対象学年	3	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	moodle上自作資料				
担当教員	秋田 敏宏, 谷林 慧				
到達目標					
4年次以降の分野について理解をし、関連したテーマで探究活動を行う。また、探究内容についてのプレゼンテーションを行い質疑応答ができることを目標とする。 教育目標: C, D 学習・教育到達目標: C-3, D-2					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
テーマの設定	分野に関連したテーマを設定しており、それについての仮説や調査項目が示されている。	分野に関連したテーマを設定している。	テーマがはっきりしておらず、仮説や調査項目が示されていない。		
探究方法と分析の視点	目的とテーマに沿った探究方法によって分析を行っている。	探究方法と分析の視点を示している。	探究方法と分析の視点が示されていない。		
探究データの整理	調査や実験などによって得られたデータをもとに何かしらの規則性や法則性を見出すことができる。	探究によって得られたデータをまとめることができる。	探究データを示していない。		
結論導出	探究データにもとづいて結論を導き出し、目的に関連付けてまとめることができる。	探究データにもとづいて結論を導き出すことができる。	探究データにもとづいて結果を導き出すことができていない。		
プレゼンテーション	探究成果を報告書としてまとめ、ポスターを用いた発表において質疑応答ができる。	探究成果を報告書としてまとめ、ポスターを用いた発表することができる。	探究成果を報告者やポスターとしてまとめることができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	電気・電子系の学習内容にとらわれることなく、他の系の学習内容や今後学習する内容にも関連付けたテーマを設定し、複合的な知識を必要とする探究活動を行う。また、計画と実行、プレゼンテーションなどの素養を身につける。				
授業の進め方・方法	インターネットや文献での調査、実験などにより、各自設定したテーマを探究し、その成果をプレゼンテーションできる。				
注意点	各自でテーマを設定することが望ましいが、電気・電子系の各教員から分野に関連したテーマが提供される。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	探究活動の概要および分野とのつながりを理解できる。	
		2週	テーマ設定	テーマを設定することができる。	
		3週	活動計画立案	ガントチャートを作成できる。	
		4週	テーマ発表会	テーマを設定した動機や今後取り組む内容をプレゼンテーションできる。	
		5週	探究活動①	調査・実験・データの整理を行うことができる。	
		6週	探究活動②	調査・実験・データの整理を行うことができる。	
		7週	探究活動③	調査・実験・データの整理を行うことができる。	
		8週	探究活動④	調査・実験・データの整理を行うことができる。	
	4thQ	9週	探究活動⑤	調査・実験・データの整理を行うことができる。	
		10週	探究活動⑥	調査・実験・データの整理を行うことができる。	
		11週	探究活動⑦	調査・実験・データの整理を行うことができる。	
		12週	ポスター作成	プレゼンテーション資料を作成することができる。	
		13週	発表会	探究テーマのプレゼンテーションができる。	
		14週	報告書作成および分野詳細	報告書を作成できる。分野選択について意識することができる。	
		15週	報告書作成および分野詳細	報告書を作成できる。分野選択について意識することができる。	
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		報告書	発表	合計	
総合評価割合		60	40	100	
基礎的能力		0	0	0	
専門的能力		60	40	100	